

(8) コンクリートは、打込みが完了するまで 連続して打ち込んでいるか

構造上の弱点となる不要な継目を作らないように、一区画のコンクリートは、打込みが完了するまで、連続して打ち込む必要があります。

下層のコンクリートを打ち込んでから、上層のコンクリートを打ち込むまでに長い時間が経過すると、下層のコンクリートが固まり始めて、上層のコンクリートと完全に一体化しないため、不連続な打継ぎ目が発生します。これをコールドジョイントと呼んでいます。コールドジョイントの曲げに対する強度は、一般部に対して1/3に低下すると言われていません。コンクリートを連続して打込めばコールドジョイントは発生しません。特に気温が高い場合は、コンクリートの硬化が早まるので、コールドジョイントに対する注意が必要です。」

